



梅棹忠夫 知的先覚者の軌跡

企画展「知的生産のフロンティア」関連

編者：国立民族学博物館 特別展「ウメサオタダオ展」実行委員会
発行：千里文化財団/A4判 全146頁/価格：2,400円 (+税)

国立民族学博物館(みんぱく) 初代館長、梅棹忠夫の90年の全生涯とその知的営みにせまる、
渾身の一冊。総勢41名にのぼる執筆陣がそれぞれ異なる視点から解説をこころみる。
2011年に本館で開催された特別展「ウメサオタダオ展」図録の再版。

お問い合わせ：国立民族学博物館ミュージアム・ショップ <https://www.senri-f.or.jp/www/html/>



新装版 梅棹忠夫 編著 日本の未来へ 司馬遼太郎との対話 2,200円

民族問題から日本論・日本人論まで——現代の混沌を予期、洞観していた司馬・梅棹の対談集。2000年にNHK出版より初版が世に送り出され、知的にして洒落た二人の語り多くの読者が魅了されながらも今日入手が困難となっていた名著を、梅棹忠夫生誕百年を迎え、ついに復刊。20世紀を代表する思索家の知の饗宴が、いま甦る！

コミュニケーション的 存在論の人類学



杉島敬志 編 4,000円

存在は単独で存在するのではなく、コミュニケーションやゲームとともに立ち現れる——人類学理論の中心をなす「存在論」の議論を拡張し、現代人類学が進むべき未来を模索する。国立民族学博物館共同研究の成果を書籍化。

臨川書店 <http://www.rinsen.com> 価格は税別
TEL075(721)7111 FAX075(781)6168

川瀬慈 編著

あふりこ

——フィクションの重奏／遍在するアフリカ



豊饒な神話たちが、呼吸し、思考し、増殖する。「アフリカ」を対象に研究を行う、村津蘭、ふくだべろ、矢野原佑史、青木敬、計5名の気鋭の人類学者たちによる革新的な「物語」への試み。イマジネーションとフィクションの重奏が地図上のアフリカとは異なる、新たな世界を立ち上げる。写真多数。

●四六判並製 344頁/本体 2400円 + 税

鈴木七美 著

エイジングフレンドリー・コミュニティ



超高齢社会における人生最終章の暮らし方

人生の最終段階、支援が必要になったとき、誰とどこで暮らすのか。問題は「自宅か施設か」ではなく、どこにあっても生活をいかに楽しむか、だ。福祉先進国デンマークをはじめ、世界各国で調査を重ねてきた著者が、高齢者の人生の物語を克明に描く。

●四六判並製 256頁/本体 2800円 + 税

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-9 新曜社 表示価格は本体価格です
TEL 03 (3264) 4973 FAX 03 (3239) 2958 <https://www.shin-yo-sha.co.jp/>

『読売新聞』(2020・1・12付)、『日本経済新聞』(2020・1・18付)、
『ミュージック・マガジン』(2020年2月号)、『レコード・コレクターズ』(2020年3月号)

書評掲載多数!

ベトナムの大地にゴングが響く

東南アジアに古くから伝わる、丸い青銅製の体鳴楽器、ゴング。
ベトナムの中部高原に住まう少数民族の村々を舞台に、民族、宗教、儀礼・祭礼などのゴングの文化的な側面に加え、調律師の技やゴング製作、そしてゴングの「音」に重点を置いた調査と研究からゴング音楽の深奥に迫る。

柳沢 英輔 著

打ち鳴らされる響きの連鎖が大地を、身体を、精霊を震わす

著者撮影(録音)の
映像・音声資料が視
聴できるQRコード
を掲載!



精霊を集める響きと旋律
四六判並製 331頁
本体価格：2700円 + 税

株式会社 灯光舎 〒603-8233 京都市北区紫野西野町 25-8 TEL: 075-366-3872 FAX: 075-366-3873